

ERI YAMABE PIANO RECITAL

育英高専海外ボランティアチャリティコンサート

育英海外ボランティア会

スロイテル・ジュリアン神父を中心に学生・OBで構成され『自立に向けた支援』を目標として、定期的に東ティモールに出向き、現地で様々な活動を行っています。

東ティモールは長野県ほどの面積で、1999年夏の独立投票の結果、2001年にアジアの小国として独立し、国連にも加盟をしています。しかし残念なことに長い占領時代と地理的条件が災いし、相変わらず生活水準が低く、水不足や食糧危機、疫病など現地の人々は苦しい生活を強いられています。私達の活動の特徴は、現地の人々が水、食料、医療品を得られる環境となるように整備する事ですが、活動はいつも彼らと一緒にいることにしています。これは共に活動する事によって専門分野の実地訓練教育となるからで、自分達の生活が、自分達で維持できるように、特に最貧層の村落で活動を行っています。

スロイテル・ジュリアン神父/PROFILE

1926年ベルギーのオーステンド生まれ。大学の哲学部を卒業後、続いて電気工学部を卒業、1956年来日。育英工業専門学校で教師を務めながら、1973年「育英海外ボランティア」を創立。ベトナムで支援活動を始めて、1988年からは毎年東ティモールへ学生を連れて共に支援活動を行っている。この功績により1997年「外務大臣賞」、2002年「杉並区長賞」を受賞する。



ERI YAMABE

MESSAGE「リサイタルによせて」

このたび、日頃から数々のボランティア活動にご尽力を注いでいらっしゃる、“ミュージックジョイみやもと”の宮本ルミ子先生にお声をかけていただき「私の演奏が少しでも活動のお役に立てるのなら」と、喜んで引き受けさせていただきました。

J.スロイテル神父様をはじめ育英高専の皆様が、東ティモールの支援活動を計画的に誠心誠意行っていることを知り、私も「育英高専の皆様の一員となり、このコンサートを成功させなければ」という思いに駆られています。

当日の演奏には、幅広い層の方々に支援活動を知って頂くため、興味深くお聴き頂けるレパートリーを取り入れてみました。一人でも多くの方にご満足頂けるよう頑張りたいと思います。皆様どうぞこの支援活動にご協力いただけますようお願い申し上げます。

山辺絵理/PROFILE

1981年東京生まれ。3歳よりピアノを始める。'92年「第46回全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部」第2位、'93年「第17回ピティナピアノコンペティション全国大会E級」銀賞、併せて読売新聞社賞、洗足学園前田賞受賞。その他国内のコンクールに数多く入賞。'95年「第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール」でセミファイナリスト。'98年「第3回若いピアニストのためのルービンシュタイン記念国際コンクール」(ポーランド)で第5位。併せて最年少最優秀賞を受賞。'99年「第6回ヨーロッパパシフィック国際コンクール」(ドイツ)でディプロマ賞受賞。'00年「第1回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA」にて第1位受賞。'01年「第56回ジュネーブ国際音楽コンクール」(スイス)にて最年少でベスト6に選ばれる。'03年「2003チャペルゴールドメダルコンペティション」(イギリス)でシルバーメダル受賞。

14才で初リサイタルを東京にて開催。国内はもとより、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、ポーランド、ハンガリーにてソロ演奏会及び協奏曲の演奏会に出演。ポーランド国立放送交響楽団、同国立ポメラニアン交響楽団、同国立クラクフ室内管弦楽団、チェコのヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団、他と共演、ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団とは国内外で5回の共演を行う。'00年「ショパン国際ピアノコンクール」(ポーランド)に参加の際、コンクール速報新聞で「才能あるピアニスト。名演奏だった。彼女は多くのものを我々に提供してくれるだろう。」とその演奏を高く評価され、「ノクターン作品62-2」はコンクールライブCDにリリースされた。

'99年東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コース首席卒業後、同大学ピアノ演奏家コースに入学。'01年9月より世界的ピアニスト、ケヴィン・ケナー氏に認められ、同氏が教授を務める英国王立音楽大学に(財)ヤマハ音楽振興会留学生奨学金を受け留学。東京とロンドンの往復で2つの大学に在籍。'03年3月東京音楽大学ピアノ演奏家コースを首席で卒業。同大学卒業演奏会、読売新人演奏会に出演。7月英国王立音楽大学大学院第一課程を首席で卒業。9月より(財)安田生命クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生奨学金を受ける。

現在、英国王立音楽大学大学院第二課程に特待生奨学金を受け在学中。これまでに、田澤恵巳子、杉谷昭子、ハリーナ・チェルニー・ステファンスカ、吉川元子、下田幸二、高橋多佳子、野島稔、菊地麗子、ケヴィン・ケナー各氏に師事。ロンドン在住。

MESSAGE<ピアニスト ケヴィン・ケナー氏より>

Only a few years ago we could all see on the television and read in the newspapers the struggles of the people of East Timor for their sovereignty. But perhaps it is not so well publicised that this country is the poorest in the world. I applaud the efforts of those who are now trying to raise funds for this cause and hope the upcoming benefit concert will awaken many to the need to reach out and help others in a tangible way. I am particularly pleased to hear that pianist Eri Yamabe will be the performer. She is a pianist of astonishing ability, a musician who is on her way to becoming a substantial voice in the music world.

2003 Oct, 28 Kevin Kenner

つい数年前、私たちの多くは東ティモールの人々が独立のために戦っていたことをテレビや新聞で知りました。しかし、この国が世界で最も貧しい国であるということは、おそらくそれほど多くには知られていないでしょう。私は、このために支援活動資金を立ち上げようと努力している人たちに惜みない喝采を送るとともに、今回のチャリティコンサートが人々に実質的な形で助けることの必要性を気づかせてくれることと期待しています。

私は、ピアニスト山辺絵理がこのコンサートの演奏者になると聞いて本当に嬉しく思います。彼女は驚くべき才能を持ったピアニストであり、将来、音楽界で名声を築くであろう音楽家です。

2003年10月28日 ケヴィン・ケナー

KEVIN KENNER

